

ドゥブロヴニク観光協会

プレスリリース



2025



Turistička zajednica
grada Dubrovnika
Dubrovnik
Tourist Board

ドゥブロヴニク

千年を超える歴史が、ドゥブロヴニクのあらゆる場所に息づいています。この街はまさに生きた博物館であり、歴史と現代が調和する舞台。全長1940メートルにおよぶ中世の城壁に囲まれた旧市街は、往時のままの姿をとどめ、訪れる人々を魅了する最も人気の観光スポットです。1979年にはユネスコの世界遺産に登録されました。ドゥブロヴニクは文化都市として知られ、数多くの史跡に加え、豊かな芸術イベントやフェスティバルも楽しめます。そして何より、この街は休暇を過ごすには理想的な地。主要なヨーロッパ都市から直行便で結ばれており、アクセスも抜群です。一度訪れれば、誰もが恋に落ち、何度も足を運びたくなる。そんな魔法のような魅力が、ドゥブロヴニクにはあります。

四季を問わず、美しさが咲き誇る街。ドゥブロヴニクへようこそ

ブドウ畑で味わう地元ワイン、ドゥブロヴニク交響楽団のコンサート、ガイドと巡る豊かな歴史探訪、自分で採ってその場で味わうカキ、新鮮なシーフードと伝統料理に出会えるレストラン、そして陽気なナイトライフ。慌ただしい日常をひととき忘れ、青い海と明るい太陽、澄んだ空気のなかで、人生の喜びをまるごと味わってください。ドゥブロヴニクは、まさに一年を通じて楽しめる理想のデスティネーションなのです。



ドゥブロヴニクの歴史

街の起源は小さな共同体として始まりましたが、やがて独立国家「ドゥブロヴニク共和国」の首都へと発展しました。この小さな国家は、南アドリア海においてヴェネツィアにも匹敵する重要な交易拠点となり、国際的にも存在感を放っていました。歴史は街の隅々にまで息づき、博物館であると同時に、今を生きる人々の日常が織り交ざる舞台でもあります。建物一つひとつが、記念碑ひとつひとつが、唯一無二の価値を宿しています。壮大な城壁に囲まれた旧市街はそのままの姿で保存され、訪れる人々を時の旅へと誘います。1979年以降、この歴史的な中心地はユネスコ世界遺産として保護されています。



地理的位置と気候

ドゥブロヴニクは、アドリア海の東側、最南端に位置するクロアチア・ドゥブロヴニク＝ネレトヴァ郡の文化と行政の中心地です。気候は穏やかな地中海性で、年間平均気温は18.5℃。一年のうち約2600時間が晴天に恵まれます。気温が氷点下になることはほとんどなく、雪はまれな現象です。

豊かな自然と植生

この恵まれた気候が育むのは、実に多彩で豊かな亜熱帯性の植物群。海岸線と島々には、松や糸杉をはじめとする常緑樹が生い茂り、周辺にはブドウ畑やオリーブ園、果樹園が広がっています。



人口と暮らし

ドゥブロヴニク市は、ドゥブロヴニク＝ネレトヴァ郡の行政・経済・文化の中心都市であり、2021年の国勢調査では41,562人の人口が確認されています。ユネスコに登録されている旧市街内には、現在およそ1200人が暮らしています。

観光の歴史と宿泊施設

観光の起源をたどれば、すでにドゥブロヴニク共和国時代にまでさかのぼることができますが、近代的な観光の幕開けとされているのは1897年です。この年に開業した「グランド・ホテル・インペリアル」は、当時の最先端施設です。電気やエレベーターなどを備えた、画期的なホテルでした。

2025年現在、ドゥブロヴニク市内には51軒のホテルが営業しており、うち16軒が5つ星、16軒が4つ星、13軒が3つ星（その他6軒も含む）となっています。2024年には延べ1,355,619人の観光客が訪れ、合計4,269,065泊の宿泊実績が記録されました。



ドゥブロヴニクへのアクセス

ドゥブロヴニク空港は市内から約22kmの距離にあり、空の玄関口として非常に重要な存在です。というのも、この街を訪れる観光客の多くが航空機を利用しているためです。夏のシーズンには、ヨーロッパの60以上の都市から直行便が運航され、アメリカ合衆国への直行便もあります。ヨーロッパの主要都市からの平均所要時間はわずか1~2時間。冬季においても、首都ザグレブへの複数の便が毎日運航されており、そこから国内外へのアクセスが可能です。近年では、冬の間にもヨーロッパ諸都市との直行便の増便が進められており、通年で訪問がますます便利になっています。

ドゥブロヴニクは、国際会議や企業イベントの理想の開催地

歴史と文化の香り漂うドゥブロヴニクは、企業イベントや学術・専門会議、社交イベントなど、さまざまな形式の催しに最適な場所です。この街の魅力は、美しいアドリア海の青と地中海性の自然に囲まれたロケーションと、豊かな歴史遺産が共存している点にあります。さらに、高品質な宿泊・会議施設、専門性の高いDMC（デスティネーション・マネジメント・カンパニー）や PCO（プロフェッショナル・コンGRESS・オーガナイザー）の充実も、イベント開催地としての信頼性を支えています。

実際、クロアチアの会議・イベント業界において、ドゥブロヴニクは主要な地位を占めており、国際会議、スポーツイベント、フェスティバルなどが年間を通して多数開催されています。5つ星・4つ星ホテルは、規模を問わず各種イベントの理想的な会場を提供してくれます。また、ドゥブロヴニク公爵の宮殿（Knežev dvor）、レヴェリン要塞、マリン・ドゥルジッチ劇場、スポンザ宮殿、クロアチア国際大学センターといった歴史ある建築物も、唯一無二の雰囲気を出し出す特別な会場として、ビジネスシーンを華やかに彩ります。

映画とドラマの舞台としてのドゥブロヴニク

世界で最も視聴されたHBO制作のテレビシリーズ『ゲーム・オブ・スローンズ』は、2011年からドゥブロヴニクで撮影が行われています。原作者ジョージ・R・R・マーティンによる原作のなかで描かれた「キングズ・ランディング」の姿が、ドゥブロヴニクの街並みや地形と驚くほど一致したことが、ロケ地として選ばれた最大の理由です。

毎シーズンの開始前に公開されるメイキング映像では、制作陣や出演者がドゥブロヴニクとその住民、そしてクロアチア全体のもてなしに深い感動を抱いていることが語られています。アメリカのBuzzFeedなど映画関連の国際メディアも、ドゥブロヴニクを「七王国の首都」にふさわしい舞台として絶賛しており、現在では世界中で「キングズ・ランディング」として広く知られています。

こうした背景から、「ゲーム・オブ・スローンズのロケ地を巡る旅」など、作品の世界観を体験できるツアーも人気を博しており、世界各国のメディアがドゥブロヴニクの歴史的ロケーションを特集する機会も増えています。

映画ロケ地としてのドゥブロヴニクの魅力は、『ゲーム・オブ・スローンズ』にとどまりません。インド映画界「ポリウッド」の作品や、世界的ヒット作『スター・ウォーズ』、そして映画『ロビン・フッド』の撮影もこの地で行われました。今後もドゥブロヴニクが、多くの国際的映像作品に登場することでしょう。



ドゥブロヴニクの観光名所

ドゥブロヴニクの文化遺産は多くの興味深い観光スポットを提供しており、訪問者にとって最高の選択は難しいほどです。

フランシスコ会修道院の薬局：ヨーロッパで3番目に古い薬局で、1317年に開設されました。

大聖堂の宝物庫：11世紀から19世紀にかけてドゥブロヴニクの金細工工房による素晴らしい作品を展示しています。

ドミニコ会美術館：15～16世紀の有名なドゥブロヴニク絵画学校のコレクションを所蔵しています。

公爵宮殿：家具、美術品、1420年の薬局「ドムス・クリスティ」など、多くの美術コレクションがあります。

海事博物館：ドゥブロヴニクの海洋伝統の歴史を紹介しています。

ドゥブロヴニク美術館：クロアチアおよび国際的な画家の作品を展示しています。



市壁

ドゥブロヴニクの最も象徴的なシンボルであり、都市の歴史と発展に大きな影響を与えました。5つの要塞を持つ美しい市壁は、街、ロクルム島、開けた海の絶景を提供します。市壁は世界で2番目に訪問者数の多い野外博物館です。詳細は：
citywallsdubrovnik.hr



ロクルム島

1023年にベネディクト会修道院が設立されたと初めて記録されている小さな神秘的な島です。伝説によれば、1192年に十字軍遠征から戻る途中、リチャード獅子心王がこの島で難破から逃れたとされます。ロクルムの名前は、かつて遠い地域からの植物が自生していたことを示しています（ラテン語 *acrumen* = 酸っぱい果実）。1959年にはロクルムに植物園が設立されました。港からボートでわずか10分で到着できるため、手軽な日帰り旅行に最適です。

ロープウェイ

ドゥブロヴニクのパノラマビューを楽しむなら、ぜひロープウェイに乗ってください。街、島々、夕日の素晴らしい景色が広がります。詳細は：
dubrovnikcablecar.com



エラフィティ諸島

ドゥブロヴニクの西側にある美しい群島で、8つの島と5つの小島からなります。そのうち3つは有人島で、コロチェブ、ロブド、シパンです。グルジュ港から定期船で行くことができ、多くの観光ツアーもあります。

トルステノ植物園

16世紀のルネサンス公園にある、ドゥブロヴニクの貴族グチェティッチ家の夏の別荘跡に広がる保護された自然記念物で、多様なエキゾチックな植物コレクションがあります。

ラザレティ – かつての検疫所、現在はクリエイティブなエリア

ラザレティは地中海のヨーロッパ地域で唯一完全に保存されている検疫施設で、1994年にユネスコの保護対象となりました。1590年にドゥブロヴニク共和国の元老院によって決定され、1627年から1647年にかけて建設されました。かつてはペストなどの感染症から都市を守る役割を果たしました。今日では、展覧会、コンサート、ワークショップ、会議など多様な文化イベントの場として使われています。

ドゥブロヴニク – 理想的なロマンチックな目的地

世界的に有名な多くのカップルが愛を育んだこの地は、結婚式やバレンタインデーにも最適です。毎年、多くの外国人カップルがドゥブロヴニクで結婚式を挙げ、写真と共に思い出を大切にしています。米国の『ハフィントン・ポスト』は、ドゥブロヴニクを新婚旅行に最も人気のある世界の5大目的地の一つに選びました。その他にも『コンデ・ナスト・トラベラー』『フード&ワイン』『ガーディアン』『コリエーレ・デラ・セラ』『CNN』など世界のメディアがこの街のロマンチックな魅力を紹介しています。



ドゥブロヴニク – フェスティバルの街

ドゥブロヴニクは、コンサートや演劇公演にぴったりのユニークな雰囲気を持つフェスティバルの開催地として知られています。多くのフェスティバルは屋外や歴史的な場所で行われます。

ドゥブロヴニク夏の祭典は、70年以上続く最も権威ある文化イベントで、7月10日から8月25日まで開催されます。市街の通り、広場、教会が演劇や音楽の特別なステージに変わります。早期音楽フェスティバルは10月初旬に開催され、5月から10月までは演劇、民俗舞踊、ダルマチア地方のクラパ（合唱団）が街の通りで披露されます。

グッドフードフェスティバルは10月に観光局の主催で開催され、クリスマスマーケットや12月24日と大晦日の伝統的なカレンダヴァーニェ（街角でのクリスマスソング）、そしてストラドン（最も美しい通り）での盛大な新年カウントダウンが行われます。

ドゥブロヴニクカーニバル、仮装祭り、守護聖人聖ヴラホの宗教行事なども有名です。

3月のカキ祭りは、イースターの伝統的な祝祭とエンターテインメントの幕開けを告げます。

また、ドゥブロヴニクは国際的なスポーツイベントの開催地としても知られ、9月に行われる4レースの「デュモーション」、その中にはドゥブロヴニクハーフマラソンも含まれます。10月には「ドゥブロヴニク トライアスロン - 地、海、火」が開催されます。



ドゥブロヴニクのグルメ体験



その土地の暮らしを知りたいなら市場へ行き、街の中心に入り、毎日家族の食卓に並ぶ食べ物の香りを感じ、味わってみましょう。ドゥブロヴニク周辺の自然豊かな土地で育つズッキーニ、コナヴァル産キャベツ、ハーブ、パランチャ（ナス）とポマドール（トマト）は、地元の名シェフたちをもうならせる食材です。ドゥブロヴニクの料理は、オリーブオイルをたっぷり使い、自然の恵みを活かしたシンプルで滋味深い味わいが特徴です。

レストランの料理は多様で、伝統的な地元料理や良質な生ハム、オイル漬けチーズ、タコのサラダ、緑のメネストラ（野菜スープ）、魚のグリルなどから、新鮮なアドリア海の魚介類、貝類を使った高級料理まで幅広く揃っています。

また、西洋料理の必須である寿司やフランス料理、アルゼンチンのステーキも楽しめます。若い方にはファストフードやピザ店、地元の小さなレストランもあります。

ワインはドゥブロヴニク共和国時代から高く評価されており、1424年の価格規定も残っています。特にペリエシャツ半島の黒ブドウ「プラヴァツ・マリ」、コルチュラ島の白ワイン「ポシップ」、そしてコナヴァルの「マルヴァジア」は有名で、豊かな味わいと南国の香りが特徴です。

ドゥブロヴニクを訪れた著名人

リチャード獅子心王、ウォリス・シンプソンとエドワード王子、エリザベス・テイラーとリチャード・バートン、マイケル・ダグラスとキャサリン・ゼタ＝ジョーンズ、リチャード・ギア、ニック・ノルティ、トム・クルーズなど、多くの著名人がドゥブロヴニクを訪れています。

ストラドゥンの磨かれた石畳には、毎年夏に世界のスターたちが訪れます。ケビン・スペイシー、モーガン・フリーマン、ミッキー・ローク、ノルウェー王室のハラルド5世とソーニャ王妃もヨットでアドリア海を訪れました。室内楽フェスティバルのゲストには007のロジャー・ムーアやジョン・マルコヴィッチもいます。ファッション界のヴァレンティノも毎夏、仲間とともにドゥブロヴニクの夏の夜を楽しんでいます。

サッカー選手クリスティアーノ・ロナウドやルカ・モドリッチも訪れました。ビヨンセとジェイ・Z、オプラ・ウィンフリー、ハリソン・フォード、マジック・ジョンソン、ジョン・ボン・ジョヴィなどもドゥブロヴニクの美しさを満喫しています。

ティナ・ターナー、ロマン・アブラモヴィッチ、ポール・ゲティ、ビル・ゲイツ、モナコのカロリーヌ妃、ヨルダン王、オマーンの王子など、豪華なクルーズ船で訪れる著名人も多く、ドゥブロヴニクは誰にとっても忘れられない魅力的な場所となっています。



ドゥブロヴニクのお土産

伝統的なキャンディ「ブルシュタリミ・ミェンドゥリ」、アランチーニ、コントニャータ、物語のあるラキヤ（蒸留酒）、黒白ワイン、熟練の彫刻技術による工芸品、金色のオリーブオイル、ローリエやローズマリーの香りを閉じ込めた冷圧搾石鹸など、ドゥブロヴニクならではの土産を発見してください。

伝統工芸品の店は市当局の支援も受けており、フィリグリー（銀細工）細工師、靴職人、理髪師、革職人などが活動しています。

AUTHENTICALLY CROATIAN（オーセンティカリー・クロアチアン）



「Authentically Croatian」はドゥブロヴニク観光局が長年取り組んでいるプロジェクトで、ドゥブロヴニク、コナヴァル、ストン、スラノ地域の典型的なクロアチア製品やドゥブロヴニク特産品のみを扱う店舗に認定マークを付与しています。

2012年、観光省からのイノベーション支援プログラムにより促進され、認定シールのデザイン刷新や専門委員会による店舗審査も行われています。現在40店舗ほどが参加し、市街地以外のエリアにも広がっています。

このプロジェクトは、高品質で本物の地元製品を提供する店舗の活性化、伝統的な職人技の保存、地域独自の観光商品の創出を目的としています。

コンタクト

ドゥブロヴニク観光局 プロモーション・広報・
国際関係部

press@tzdubrovnik.hr

公式サイト: www.tzdubrovnik.hr

SNS: @experiencedubrovnik

